

第3回
元住吉
ミュージック
フェスティバル
in **川崎市**
国際交流センターホール

最寄駅：東急東横線・東急目黒線
「元住吉駅」西口徒歩10分
Add：川崎市中原区木月紙園町 2-2
TEL：044-435-7000

入場無料

たくさんのアーティストが集い
ジャズ、クラシック、ロック、アコースティックなどの楽曲が
一日中生演奏で楽しめる音楽祭です。



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

後援
●川崎市中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会

2024
4
April

特別付録

第3回 ミュージック
元住吉 フェスティバル

元住吉から楽器や歌声が聞こえる！
出演団体
プロフィール紹介



2024年
4月6日は
MMFで
ご紹介

音友レコード倶楽部

レコード・コンサートの
デモンストレーション紹介

- 国際交流センター・ホール
- 15:00~15:20
- 詳しくはMMFプログラムをご覧ください。

元住吉最大の音楽祭



2024年 **4月6日** ±
11:00~20:00

主催 音楽好きな友の会 / MMF実行委員会
共催 Motton Club
後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 / (公財)川崎市国際交流協会 / (公財)かわさき市民活動センター / (公財)現代人形劇センター / かわさきFM(79.1MHz) / 人形劇団ひとみ座
協力 モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合 / モトスミ・オズ通り商店街振興組合 / 井田中ノ町商栄会 / 武蔵新城・日光通商店街振興組合 / 木月一丁目町会 / 木月二丁目町会 / 木月三丁目町会 / 木月四丁目町会 / 井田共和会第2町会 / 井田共和会第3町会 / 井田共和会第4町会 / ウチデザイン/アデザイン/島倉 学ミュージックスクール/ソウリーヴ・ミュージック・スクール (敬称略・順不同)

お問合せ：info@ontomo.jp

A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2024年4月16日号
2024年3月16日発行 (毎月16日発行)
第110号
発行・編集人：塚田親一
編集：藤田順治 / 大塚明弘 佐伯奈々重
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2024-3-16-800 Printing IT
音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/



詳しくは音友会webをご覧ください →

連載55 最終回 そして音楽の旅は続く...

Hoshino Kai
ジャズボーカリスト **星乃けい**
official website
https://www.hoshinokei.com



ついに最終回になりました！全55回、4年半に渡り読んでくださった皆様、M-magazineさん、スタッフの皆様にご挨拶を申し上げます。シンガーソングライターから始まりジャズボーカリストまでの、およそ50年間の音楽の旅路を書かせていただきました。中学3年生から年金を貰うまでですね(笑) この時期の50年は誰にとっても、人生でいちばん躍動的で活動的でしょう。そして年老いた私のこれからはというと、同じ～！何も変わりません。顔やスタイルは変化してしまいましたが、音楽の森の中で楽しいことを見つける日々です。歌いたい曲もたくさんあって宿題が山積み、聴きたいライブやコンサート、CDも！あー忙しい。ところで、皆さんはジャニス・イア

ンの「ジェシー」ご存知？ YouTubeでこの前見つけたのですが、白髪になったジャニスが、ささやかな会場でアンブレラで唄っている、心が震える歌唱です。シンガーソングライターの究極の世界に泣けてきました。撮影状態があまり良くないのですが、これをオフィシャルで出しているジャニスの気持ちがよくわかります。最高の唄！…と感動の涙の日もあれば、先日リクエストいただいた「TVのサラメシの曲！」(調べたら「Dream」という曲でした)を練習したり、スターダストレビューの「木蓮の涙」歌いたいなあと。昨日は、私のオリジナル曲のカバーをやりたいとメールが来たので「ひょー！譜面を綺麗に書き直さなきゃ！」と机に向かっていました。おそらくこれから先も、こんな調子でいくんだろうなあ。連載は最終回ですが私はまだ旅の途中、いつも思うのですが、これを読んでくれるあなたは、どんな旅をしているのかしら？ 途中で投げ出したくなったり、痛みをいやがり…そうなら「ひと休み」。道に迷うのもありがちなこと。あなたの大切な旅路が、満たされた楽しいものになるように、焦らずゆっくり歩んでくださいませ。そうそう！私も旅人なので、どこかであなたに出会おうかしれません。ぜひ「M-magazineみたくよ」とか

言って、お友達になってください。その時を楽しみにしています。さて最後に、昔からのモットーを初お披露目させていただきます。それは「本気で遊ぶ！」です。これからも音楽の旅を遊びたいと思います。長い間、本当にありがとうございました！



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

音友レコード倶楽部PR動画！
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

島倉 学ミュージックスクール
驚くほど歌い方が上達する
「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所 営業日：火曜～土曜 12:00～21:00
代表 島倉 学 定休日：日曜・月曜
TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com
HP: https://www.ms-musicschool.com/

川崎市生涯学習プラザ

第135回 ランチタイム・ロビーコンサート

- 日時：2024年4月18日(木曜日)12:00開演 / 12:10開演 / 12:40終演予定
- 料金：無料
- 場所：川崎市生涯学習プラザ 1Fロビー
- 出演：Les Cloches (レ・クロッシュ) 宇宿真紀子(ピアノ)& 宇宿直彰(チェロ)

Les Cloches (レ・クロッシュ)
宇宿真紀子と宇宿直彰による姉弟デュオ。「レ・クロッシュ」とは、フランス語で「鐘」の意味。国内外で活躍。今までに多数のCDをリリース。



- 予定曲
・ベッリーニ：銀色の月よ (Vc&Pf)
・J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番より (Vc)
・ブルッフ：コル・ニドライ (Vc&Pf)
他

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室
総務係 ロビーコンサート担当
TEL (044-733-5560)
E-mail (concert@kpal.or.jp)
川崎市中原区今井南町28-41
HP (https://kpal.or.jp/)

音楽好きな友の会 (音友会)

4月6日は「ひょっこりひょうたん島」放送開始日!

今年度のMMFは4月6日に開催。その日は奇しくも人形劇番組「ひょっこりひょうたん島」がNHK総合テレビで1964年に放送開始された日である。我々昭和生まれの年代は懐かしく感じるが現在では珍しい人形劇番組。

主なあらすじは漂流島となったひょうたん島が多数のキャラクター(主な登場人物としてサンデー先生、博士、ダンディ、トラヒゲ、ドン・ガバチョ、ライオン君)を乗せ、冒険の旅に出る物語である。言うなればアニメ「ONE PIECE」の原点の様な作品で1969年4月4日に一旦、終了するがその後もリメイク版や再放送が行われている。「波をチャップチャップチャップかき分けて～」と始まる主題歌は作詞が原作者の井上ひさし、放送作家の山元謙久、作曲が宇野誠一郎で何とモーニング娘が2003年に初めてカバーしている。

また音友会では「MMF」の後援は元より「Mマガジン」でも「人形劇団ひとみ座」の応援を頂いています。



元住吉ミュージック・フェスティバルで
音友レコード倶楽部レコード・コンサート
デモンストレーションを行います。
(15:00 ~ 15:20)

音友レコード倶楽部が、毎月国際交流センターのレセプションルームで開催しているレコードコンサートの様子を「元住吉ミュージック・フェスティバルの生演奏」の時間を借りて「レコードによるアナログサウンド」の良さを簡単にご紹介します。世界的に見直されているレコードで昔懐かしい昭和の音をお楽しみください。

「DJタイム」担当の
パーソナリティーを募集しています。
アナウンスや司会などの練習参加も大歓迎です。

「DJタイム」

スタッフ制作のプログラム内容のレジメを配布し紹介しながらのレコード・CD鑑賞の集い。内容は「軽音楽ファンの集い」と「ジャズファンの集い」です。

「持ち寄りタイム」

参加者持参のレコードやCDを一言紹介しながら鑑賞、懇親を楽しむ集いです。



特別寄稿06

ムールドラムの女性講師コラム
~海外でドラム人生転機編~

Muhr Rumi
ムール 瑠美

約1年間の音楽留学生活が経とうとしていました。費用がそこをついてしまったのでさらに通いたい!ドラムをもっと勉強したいという気持ちが大きかったのですがやむなく卒業することになりました。

当初の予定では日本に直帰することになっていたのですが、当時お付き合いをしていた人(現主人)の国に一度移り住んで見ることにしました。

ビザがおり次第、日本には帰国せずそのままスウェーデンという国に引越しい、慣れない言語(スウェーデン語)と文化でまた一苦勞。

今まで1日ドラム漬けだった日々は一転して今度はスウェーデン語勉強の日々となりました。ラッキーなことにスウェーデンに在る移民は無料で語学学校に通うことができるので勉強は放題!

毎日叩けない日が続いて、ストレスとなっていました。何とか練習できる防音された地下室を探してまたドラムを叩くことができました。

そんな日々を送っていると、練習場所が偶然知らないロックバンドが練習しているのを発見。でもドラムがない。

曲がキャッチーで好きだったので、これは!と思いバンドメンバーがいないうちにマイクのところに置き手紙をしました。

「こちらにドラマーがいます。もしドラマーを探していたら連絡をください」と。

そんなこんなで、連絡が来て一度音合わせをすることに。みんな歳が近いスウェーデン人の青年たちでした。

久しぶりのバンド。とても楽しくてすぐに意気投合。速攻バンドに入ることになりました。

スウェーデン語も少しづつ理解できてきた頃には、バンドでヨーロッパツアーに回ったり、さらにカバーバンドで演奏する仕事もゲットできるようになっていました。

そんな中、ヨーテボリにあるドラム専門学校の講師がツアーでいない間だけ臨時で教えにきてくれないかとお

声がかかったのです。

私はそれまで演奏はたくさんしてきましたが教えたことは一度もなかった。何となくかと思いましたが、一度だけなら!とやってみることにしました。

これまで習ったことやカリキュラムを引っ張り出してきて念入り用意をしていざチャレンジです!

今回も読んでいただきありがとうございます。

写真は当時組んでいたバンドのものです。

今回は「海外から日本へドラム人生転機編」です。



音友レコード倶楽部Report 特別寄稿

伝説のナイトクラブ“ニューラテンクォーター”の秘蔵ライブCD

Ohba Akihito

DJ担当:大場 アキヒロ

昭和の終わりに社会人になった筆者は、勤務先が東京赤坂・溜池の交差点近くにあった。外堀通りを溜池交差点から赤坂見附方面に行くと、右手にホテルニュージャパンがあった。ホテルの脇に地下で営業していた“New Latin Quarter”(ニューラテンクォーター)のネオンサインが掲げられていて、前を通る度に派手なネオンに目を奪われていた(写真①)。



▲①:ニューラテンクォーターのネオンサイン

ナイトクラブかキャバレーかと思っていたが、いずれにしても自分とは縁のない世界と思っていた。あとで知ったことだが、ニューラテンクォーターにはかつて多くの一流海外アーティストがこぞ出演しており、実は彼らのステージの一部が店側で録音されており、後年それらがCD化された。このコラムではCD化された秘蔵音源について記したい。

そもそもニューラテンクォーターとはどのようなナイトクラブだったのか。ライブCD入手と同時に2冊の関連する書籍も読んでみた。『昭和が愛したニューラテンクォーター』と『東京アンダーナイト“夜の昭和史”ニューラテンクォーター・ストーリー』(写真②)。

ともに社長だった山本信太郎さんの著作。まず、ニューラテンクォーターの前身のナイトクラブから紐解かなければなるまい。店名に“ニュー”と謳っていることから分かるように前身の“ラテンクォーター”が同じ場所に存在した。終戦後、米兵慰安局で開業したナイトクラブだったが、昭和31年(1956)に火災で全焼してしまった。その後、同じ場所にホテルを建設することとなり、地下には海外の賓客や国内の富裕層、著名人をもてなす社交場として昭和34年(1959)、ニューラテンクォーターが開業した。運営は九州のキャバレー王といわれた山本平八郎が社長となり、平八郎の長男の信太郎は副社

長として加わった。開業時のこけら落としはメキシコのラテン音楽グループのトリオ・ロス・パンチョス。以後、海外の有名アーティストを次々に出演させ、伝説的な大人の社交場となった。主な出演者にはトリオ・ロス・パンチョス以外にも、ルイ・アームストロング、ナット・キング・コール、ジュリー・ロンドン、ダイアナ・ロス、パティ・ペイジ、サミー・デイヴィスJr.、コニー・フランシス、ローズマリー・クルーニー、パット・ブーン、ベニー・グッドマン、ハリー・ジェームス楽団、トニー・ウィリアムズ、ヘレン・メリル、ザ・プラターズ、アール・グラント、ニノ・ロッチ、カーメン・キャバレロ、トム・ジョーンズなど錚々たる出演者であった。専属司会者にはE・H・エリック。日本の芸能人もステージに立ち、石原裕次郎、勝新太郎、森進一、朝丘雪路、いしだあゆみ、五木ひろし、西城秀樹らに加え、ピンク・レディーも人気絶頂期に出演している。昭和50年代に入っても営業を続けていたが、昭和57年(1982)2月、ホテルニュージャパンの火災事件が発生、ホテルは営業停止となるもニューラテンクォーターは営業を継続していたが昭和64年(1989)、閉店となった。

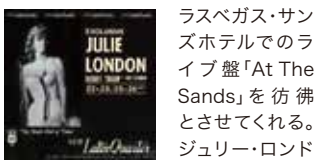
話をライブCDに戻すと、CDの元となった音源は山本信太郎社長の個人的な記録としてオープンリールテープ37本で収録されていたものであり、それらが約50年後に発見され、約25人のアーティストのステージが2013年にCD化された。伴奏はハウスバンドである海老原啓一郎とロブスターズが担当したが、アーティストによっては原信夫とシャープ&フラッツらが務めたり、ストリングスが加わるケースもあった。

これらのCDを聴いてみての感想をいくつか。席数300のため、大ホールでの公演に比べ全体的に客の拍手が少なく聞こえるのだが、ローズマリー・クルーニーのステージでは開演時の客の拍手が少なく、舞台袖で登場をためらっている彼女を察して司会のE・H・エリックが「どうぞ皆さん拍手でお迎えください」と客席に拍手を促す場面が

ある。このようなシーンはナイトクラブでの公演だからこそ。ナット・キング・コールは2回目の昭和38年(1963)来日のステージがCD化(写真③)。お馴染みのスタンダード“オータム・リーブス(枯葉)”、“ラブ・イズ・ア・メニー・スプレンドード・シング(慕情)”では日本語での歌唱も披露。ピアノも聴かせてくれており、1960年のラスベガス・サンズホテルでのライブ盤“At The Sands”を彷彿とさせてくれる。ジュリー・ロンドンは2回来日しているが、CD化されているのは

昭和39年(1964)の初来日時(写真④)。独特のアンニュイな雰囲気の魅力だが、この時37歳で妖艶な魅力いっぱいステージがCDからも伝わってくる。途中、夫君のポピー・トゥループ(p.v.o)も参加し、小粋な歌声を聴かせてくれる。ジャズ系ではルイ・アームストロングやハリー・ジェームス楽団がCD化。ハリー・ジェームス楽団はdrにパティ・リッチが加わり充実の演奏を披露している。ベニー・グッドマンも昭和39年、ニューラテンクォーターのステージに出演している。この時グッドマンはカルテットで来日し、厚生年金会館での一般公演はレコード化されている。グッドマンのディスコグラフィでは厚生年金会館での公演とそのライブ盤についての記述はあるが、ニューラテンクォーターへの出演については触れていない。グッドマンのステージはCDにふくまれておらず是非CD化してほしいと望んでいる。

CD化されたどのアーティストも脂の乗り切ったステージを展開しており、かつ日本のナイトクラブでのライブとなればどれも興味深く、それらの音源が残っていたことは奇跡に近い。ニューラテンクォーターへ無き現在、一般人は踏み入ることができなかった別世界の大人の社交場を垣間見れることは、当時は縁がなかった我々にとっては貴重である。2013年のCDリリース時、“Vol.1”の表記があったので続編のリリースを期待していたが、その後のリリースはない。今からでもVol.2のリリースを期待したい。



▲④:Live at New Latin Quarter / Julie London

▲③:Live at New Latin Quarter / Nat King Cole

▲②:関連書籍

▲①:ニューラテンクォーターのネオンサイン

▲④:Live at New Latin Quarter / Julie London

▲③:Live at New Latin Quarter / Nat King Cole

▲②:関連書籍

▲①:ニューラテンクォーターのネオンサイン

連載13 脱線ニューヨーク滞在記
前号からの続き

Demura Katsuki
出村 克明

ニューヨークの夏は暑い。そんな時メアリーさんから涼しくて美しい所だよと聞いてロングアイランドへ行きました。向ったのは海辺の別荘地で木立の中にある洒落た家でした。メアリーさんはその家で避暑も兼ねて夏だけメイドの仕事をしていました。今思うとメイドの友達遊びに行ってもいいものかなと思いますが、その時は呑気に二日間滞在しました。その別荘には30代半ばくらいの女性が(多分夏の間の避暑に)住んでいました。彼女はたまにある金持ち特有のスノッブ感はなく無くいつも笑顔で優しい人でした。食事と一緒にしました。メアリーさんはメイドとして料理や掃除をしていました。僕は真っ青な空と真っ青な海と薄いベージュ色の砂浜を歩いていました。ちらほらとパラボラアンテナが人を見えましたが、まるで騒音がなく波の音だけでした、そのエリアのプライベートビーチだったかもしれません。そして僕は身の丈以上の葦藪に入り込み葦以外見えない所まで行き空をみあげました。葦の穂先に囲まれた一面の青空にトンボくらいのジェット機がやわらかい金属音を奏で糸を引いて過ぎ去りました。葦歩きクライマックスでした。ここで一句

葦の藪 ジェット機一つ まるい空

なんて具合で過ごしました。天気も、景色も、空気も、メアリーさんの料理もベリーグットなロングアイランドでした。帰りは主人の友達がマンハッタンへの行きがけにきれいな車で送ってくれました。

僕はバンクとかその言葉すら知らなかったのですが、バンクロッカーと会った話。

ロングアイランドから戻ってきたメアリーさんと道でいつもの様に偶々会って、お茶でも最初は彼女の案内でフリーグ友達がたがは彼らを見ている所をチョット覗きました。ハードなラッグをやっているのを見て「重すぎる

それと彼女は僕にクロイスターズに行くことを勧めたのかなと、行きました中世の寺院の感じて回廊と中庭の様子がタイムトリップさせるようでした。ユニコーン(一角獣)が印象的でした。ネットで確認したところメトロポリタン美術館の別院でもあり1930年頃フランスから中世の修道院を移築したそうです。ネットの写真では洒落たレストランもあり人気のスポットみたいですが僕が行った時は疎らでした。(見出しに中世ヨーロッパへのタイムスリップとありました、同じこと

からこそ、人格も自然と疑いを掛けたくないという心情が働いても不思議はない。ただ、現実には空想の世界ではない。これまで何人もの憧れの人に出逢ってきたが、全員が全員、思い描いていたような人たちではなかった。その度に「何も知らなかった時代に戻れたら」と思った。

芸術作品に罪はなく、その人格に評価が左右されるべきではないと思う

連載89 「くじら座」日記
知ること

Makino Kento
シンガーソングライター 牧野 憲人

何も知らなかった時代に戻りたくない、今を憂いているからではなく、知ることの喜びをまた感じたいからだ。好きなミュージシャンの新譜を胸を高鳴らせて聴く瞬間を、もう一度新鮮な気持ちで味わいたい。そう思うと、知ることとは前向きな欲求でありつづ、人の新鮮さを奪う残酷さも兼ね備えている。陰と陽はやはり裏表とも言えるだろう。

「世の中には知らない方が幸せなこともある」と言われた二十代。当時の私は、あらゆることを知れば知るほど嬉しく、そこにむしる「大人になっていく」という奇妙な充実感さえ抱いていた。今振り返れば、すべて何も知らない故の浅はかな心の欲求に過ぎなかったのだろう。

有名名ほど、接したこともないのに「良い人はず」と思いがちだ。有名名

からこそ、人格も自然と疑いを掛けたくないという心情が働いても不思議はない。ただ、現実には空想の世界ではない。これまで何人もの憧れの人に出逢ってきたが、全員が全員、思い描いていたような人たちではなかった。その度に「何も知らなかった時代に戻れたら」と思った。

「良い人はず」と思いがちだ。有名名

からこそ、人格も自然と疑いを掛けたくないという心情が働いても不思議はない。ただ、現実には空想の世界ではない。これまで何人もの憧れの人に出逢ってきたが、全員が全員、思い描いていたような人たちではなかった。その度に「何も知らなかった時代に戻れたら」と思った。

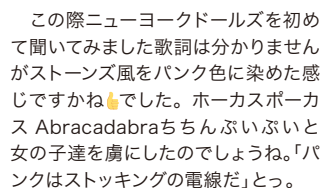
わね」とか言って直ぐにそこを離れ、どこへ行こうかと少し考え「ジャー」と云うことでコーヒーを買って変哲もないビルの上階へ。そこは広い空き室でした。5人くらいの派手な格好をした若者と2、3人の人がいて一人はカメラマンでした。メアリーさんの紹介で挨拶し「ニューヨーク ドールズ」と聞きました。撮影をしていました。彼女は顔にペイントしてたり羽根をつけたりしていましたが僕が一番印象が有ったのは、でんせんしてるタイトスカスティングでした。それがあってのバランスでした。こんな感慨でしたが、後年日本でポスターなど見てヘエーと思っていました。今回ネットで調べると僕と会った頃デビューし、後のバンクバンドに多大な影響を及ぼしたとあり全員ニューヨーク出身でした。メアリーさんには彼らの様な友達もいるかと思うとビザ屋のおじさん達も友達で声をかけられたりして、お造化返していました。

彼女への暗示だったのか、こう云う事だったのかと。フランスから雰囲気のある館が届いた(彼らも一緒にきたかも)と云うことで、暗くなった頃に魔女や妖精そして妖怪たちが集まっておしゃべりが始まり、それは風や落ち葉の音になりユニコーンは中庭で草を噛んでいたのでしょうか。前に書いたピレージの魔女も来たのでしょうか。いや、あのコーヒーショップに集まったのでしょうか三千年ぐらいの。

この際ニューヨークドールズを初めて聞いてみました歌詞は分かりませんがストーンズ風をバンク色に染めた感じですかね。ホーカスボーカス Abracadabra ちんちんぶいぶいと女の子達を虜にしたのでしょうか。「バンクはストッキングの電線だ」とっ。

話が脱線しますが僕がNYを出て5、6年後再びNYに訪れ そしてNYを出る前の日、コインランドリーの終わるのを隣のコーヒーショップで待っているところの方から「デムラー」と呼ばれました。メアリーさんでした。その時は道ではなかったですが又、偶々でした………は又の機会に

次回へ ポーハ



▲ロングアイランドの砂浜 ▲New York Dolls /DOWN OF THE DOLLS ▲クロイスターズのユニコーン ▲クロイスターズ

連載 TAKE 25

気軽な音楽会から「フェスティバル」へ

Tsukada Shinichi
塚田 親一

レコード鑑賞趣味の会の「音友会」がレコード鑑賞している楽曲を「たまには生演奏で聴きたい!」と六本木・ライブハウス「ミスティ」のピアニスト、山本剛、菅野邦彦各氏らを国際交流センター・ホールに招き、座席なしのワンフロアの会場で「真昼のライブハウス・生コンサート」を開催。フロアの真ん中にピアノ、ベース、ドラム楽器を配し、また座席は演奏者を囲むようにセツトし「演奏者とお喋りしながら楽しめるライブハウス・コンサート」である。このコンサートを「元住吉の気軽な音楽会」と称し街中の喫茶店、井田のお

祭り「タ市」などで継続活動。演奏で音友会に参加のシンガーソングライター「くじら座」の牧野くみ、牧野憲人によって井田中ノ町商栄会・キャラクターテーマソング「いだるんマーチ」が作曲され、地域街おこし活動の「音楽会」を「音楽祭」として「元住吉ミュージック・フェスティバル」が誕生し現在に至りました。

また「レコード鑑賞の音友会」に演奏者による企画・運営で「ライブ活動の姉妹組織、モットンクラブ」も、元住吉から全国に音楽配信したいと発足しました。今後この「音楽祭」を元住吉および近

郊の皆さんと「手作り音楽祭」として開催したいと思っております。企画、運営などに興味を持ち、一緒に楽しく積極的に運営活動をして頂ける若者男女の皆さんの参加をお願いします。

次回の開催時には観覧で参加の皆さんも企画、運営でも楽しんでみては如何でしょうか。



©M.Watabe

連載71 Course: Addicted to Guitar
コードのポジションでオブリを弾く C型

Nagase Susumu
ブルースロックピッキング 永瀬 晋

いつもお世話になっております。今月もギターを始めたばかりの方への攻略コラムをお送りしていきたいと思っております。前回でCAGEDの説明が1段落しだったので今回はまた新しいシリーズ「オブリガード(オブリ)」の練習をしていきましょう。そもそもオブリガードとは何ぞやというお話ですが、簡単に説明しますと「メロディーを際立たせるための別メロディ」という感じでしょうか。歌メロディーの切れ目でフレーズを入れるというのが分かりやすいかもしれません。そして今回のネタは一人で弾き語りをされている方にお勧めのネタなのですが、皆さん大

好きなCコードのポジションで音階を混ぜる練習となります。早速譜例です(Key:CでのCのコードを想定)。コードを土台に高音弦側に音階を並べていきまして「2弦開放シ、1fド(左人差し指)、3fレ(小指)、1弦開放ミ、1fファ(人差し指)」といったポジションになります。一番簡単な弾き方は譜例のように小節の頭でコードを鳴らしてそ

のあとは単音弾きというパターンになりますね。(今回は適当に音階を並べてみました)こういった音階をコード弾きに混ぜていくと、一人弾き語りでもかなりアレンジがきくようになります。是非色々なコードでお試ください。今回まだ一個めのCですが今後どんどんパターンを増やしていきます!というわけでまた次回!



Souleave Music School
http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
レッスンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB
全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押しが目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。登録アーティスト募集!!! 演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)